

高松大学 高松大学大学院 高松短期大学 認定こども園高松東幼稚園

2021. 3



学校法人 四国高松学園
〒761-0194 高松市春日町960番地
TEL (087)841-3255 FAX (087)841-3064

高松大学ハンドボール部 日本選手権大会で初戦突破!

昨年12月、岡山県で開催された第72回日本ハンドボール選手権大会に、高松大学ハンドボール部が初出場した。この大会は、高校生チームから実業団チームまでが出場する日本最高峰の大会であった。



初戦の相手は、北海道代表の北海学園大学。持ち前のアグレッシブなディフェンスからの速攻と精度の高いセットオフエンスによって、45対20で勝利した。

2回戦の相手は、本大会で優勝し、現在日本リーグでも首位を走る豊田合成。日本代表選手や外国籍選手もプレーしている実業団チームを相手に果敢に挑んだが、序盤から圧倒的な攻撃力とディフェン

ス力を展開され、10対24で前半を終了した。



しかし、後半に入ってから学チームの足が動き出し、攻守ともに積極的なプレーが見られ、後半を11対15としたが、前半での点差が響き、21対39で敗戦した。

ベスト16という結果で本大会を終えたが、実業団チームを相手に通用するプレーもあり、来シーズンに向けて良い経験を積むことができた。この経験を生かしてさらにチームを強化し、全日本インカレの上位入賞はもちろん、日本ハンドボール選手権大会でも好成績を残していきたい。



高松大学サッカー部

悲願の天皇杯初出場!

高松大学サッカー部は、日本最大のトーナメントである第100回天皇杯全日本選手権大会に



香川県の大学として初めて出場することとなり、令和2年9月23日、高知県立春野総合運動公園において、高知県からJリーグ入りをめざす日本フットボールリーグ(JFL)の高知ユナイテッドを相手に初戦を戦った。

格上の

チームを相手に互角の展開で、粘り強い守備から相手ゴールに迫ったが、前半に1点を先制される。後半も一進一退の攻防を繰り返すなか、山内樹ドルシユートが決まり、同点に追いつくと、その後も好機を演出したが、終盤に一瞬の隙を突かれ、勝ち越されるとそのまま試合終了となった。



善戦するもあと一歩及ばず、目標であった全国一勝には届かなかったが、今後に期待を抱かせる試合であった。

学位記授与式

令和2年度の大学・短期大学の学位記授与式が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小し、3月23日、本学体育館で行われ、大学・短期大学258名が学舎を巣立つ。

今年度も就職状況は好調で、

香川県等の公立小学校・特別支援学校に大学発達科学部から現役・既卒を併せて14名が合格した。また、公立幼稚園・保育所にも大学発達科学部、短期大学保育学科から多数合格しており、大学経営学部、短期大学秘書科からの企業等への就職も併せ、4月から新たなスタートを切る。

昨年1月より、世界的な規模で新型コロナウイルスの感染拡大が勢いを増し、日本においても日々の生活や経済活動に深刻な影響を与え、未だかつて我が国が経験したことのない状況にあります。

学位記授与式は学生の皆様にとって学生生活から社会へ巣立つ記念すべき旅立ちの日であり、また、教職員にとっても学生の皆様の成長の慶びを分かち合う重要な式典であります。本学においても、本来ならば、来賓や保護者の皆様のご列席のもと、学位記授与式を挙行したく考えていたところではあります。こうした状況のもと、感染拡大の防止と予防を考慮し、規模を縮小して卒業生と教職員で実施することとなりましたこと、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

さて、マスクをしての告辞ではありますが、こうした形であっても本学令和2年度学位記授与式を挙行できますことは、誠に慶びに耐えられません。本学教職員を代表して厚く祝意と感謝の意を表します。

ただ今、大学141名、短期大学117名、計258名の皆様が、めでたく学位記を授与されました。それは、この歴史と自然に恵まれた田園都市高松に立地する本学に集い、学部・学科により期間の長短はありますが、それぞれに学問や研究に励まれ、初志を貫徹された証であります。ここに、これまでの皆様の努力

に対して敬意を表し、心からおめでどうとお祝いの詞を述べたいと思います。ことに、県外や国外から遊学された皆様には、格別の苦労があったのではないかと推察します。さて、皆様、本年はパリ協定に基づく地球温暖化対策の始まりの年であり、アメリカではバイデン氏が大統領に就任、気候変動対策を強化するなど、持続可能な社会をめざし国際社会が大きく変わろうとしています。

加えて、コロナ禍における新しい生活スタイルに合わせ、在宅勤務やオンラインを使ったイベントなどSociety 5.0が推進される中、新たな価値創造が起こり、時代は急速に変化しようとしています。それは、日本にとっても、戦後の激動期に相当するほどの時代かもしれませ

ん。そうした時代を生き抜く皆様に、香川の伝統工芸としての讃岐漆器に新しい現代的手法を取り入れ、漆工芸のモダンイズムの旗手として活躍され、戦後の香川の美術界の発展



高松大学
高松短期大学
長 兼 長

令和2年度学位記授与式学長告辞

佃 昌道

に貢献された、明石朴景氏を紹介したいと思えます。

明石氏は明治44年高松に生まれ、香川県立高松工業高校髹漆科へ入学し、磯井如信氏のもとで漆工芸技法を学び、当時、競争率20倍の東京美術学校図案科に進学、卒業後は和歌山県工業試験場漆器部でペーパー・デザイナーの指導の後、昭和16年、母校である高松工業高校図案科の教員となります。このころから作品制作を開始、昭和21年に復員し、焼け野原の高松をみて、美術館の必要性を唱え、その結果、昭和24年、戦後第一号の公立美術館として高松市美術館が開館されます。

同年、当時のマンネリズムからの脱却をめざし、香川の明日の工芸を築き上げることを目的に「うるみ会」を設立し、自由をテーマに個性的な作品づくりが始まり、その作品は日展においても高い評価を得ることとなります。

その後、現代工芸美術家協会、香川県美術家協会の設立にも関わり、香川の美術界の牽引役として活躍されました。

昭和三十九年、創設時の高松短期大学児童教育学科の教授として就任され、本学の教育研究活動にも携わっていただきました。明石氏の作品の1つに高松市市議会議場背面に飾られた、高さ5.65m、幅5.40mの巨大な漆芸作品「樹間群翔」があります。この作品制作においても、自由な発想に基づき、エネルギーで妥協しない挑戦的な姿勢を見るこ

とができます。

今日の記念すべき日に改めて郷土の先輩であり、本学の師であった明石氏の足跡に触れたのは、皆様に、失敗を恐れないチャレンジ精神と自由な発想を大切に社会で活躍していただきたいと考えたからです。

さて、卒業後、公務員・銀行・企業などに進まれる経営学部・秘書科の皆様、また、小学校・幼稚園・保育所・子ども関連施設・企業などに進まれる発達科学部・保育学科の皆様、それぞれ進む道は異なり、直面する課題も多様であると思存します。

しかし、皆様が本学で学んだ、対話を重んじ、理論と実践の接点を開拓するという精神を忘れず、進取の気概を持って、自らが属している職場や地域社会の中で人との絆を大切に、日々起こる小さなことを疎かにすることなく、自分の役割を果たし、愛され、信頼される存在となりますよう期待して、餞の告辞といたします。

学長表彰

本学では、学術・文化・スポーツなどで顕著な成果を挙げた学生を対象に「学長表彰」の授与を行っています。令和3年2月末現在の表彰は以下のとおりです。

クラブ・個人名	適 用	表 彰 日
サッカー部	[スポーツ部門] 第25回香川県サッカー選手権大会 (兼 天皇杯代表決定戦) 優勝	令和2年9月25日
ハンドボール部	[スポーツ部門] 第72回日本ハンドボール選手権大会 四国ブロック予選 優勝	令和2年11月26日

ご寄附のお願い

本学園は、学生、園児に対する支援充実のため、ご寄附を募っております。

誠に恐縮ではございますが、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- ★募集期間 随時受付します。
- ★申込方法 本学ホームページもしくはお電話にてお申込みください。

★連絡先 総務部会計課
☎087(841)2161(直通)

高松大学

発達科学部

◆大学生生活を振り返って

発達科学部子ども発達学科4年



森崎さゆり

大学生活を振り返ってみて、この4年

間で様々な人と出会い、多様な経験をすることができたと感じています。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年とは違う年になりました。だからこそ、私にとってこの1年間は色濃く、印象の深いものとして残っています。

大学4年を迎えようという3月、教員採用試験合格という目標を掲げ、同じ教員を目指す仲間と共に頑張ろうとしていました。しかし、感染拡大の影響により、大学に行けず、友人や先生方にも会えないという状況になりました。そんな中でも、仲間と息抜きに電話でお互いの近況を話したり、画面越しに試験問題を出し合ったりして乗り越えることができました。私が教員採用試験に合格で

きたのは、共に頑張ってきた仲間や教員採用試験対策に関わってくださった先生方のおかげだと思っています。これからも感謝の気持ちを忘れず、新しい環境の中でも自分らしく頑張りたいです。

経営学部

◆就職活動を通して

学んだこと



経営学部経営学科4年 亀山 真一

私が就職活動を通して学んだことは2つあります。

1つ目は、早めに行動することです。私が就職活動を始めたのは3年生の12月からです。企業の合同説明会に参加し、1月からは冬のインターンにも足を運ぶことで自分のやりたいことを見出すことができました。自分は何をしたのかわからず何も行動しないのではなく、早期選考を行なっている企業もあるので、とりあえず説明会などに参加してみることをお勧めします。2つ目は、自己分析をしっかり行うことです。面接では今まで頑張ってきたこと、自

分の強みは間違いなく質問されます。自己分析をしっかりと行うことで、自分の言葉に深みや説得力をもたせることができます。うまくいかないときは、キャリア支援課やゼミの先生に相談しましょう。

就職活動が近づく不安になると思いますが、自分に自信をもって、これからの将来としっかりと向き合い、後悔のない就職活動にしてください。

高松短期大学

保育学科

◆「壁面構成」製作を終えて

保育学科1年 宮地 愛



保育学科1年生は、「保育職基礎演習Ⅱ」の授業で

「壁面構成」の製作を行いました。「壁面構成」とは、保育室などを絵画や工作などの造形作品で装飾することです。

今回は、保育所の玄関を想定し、縦1・3メートル、横1・7メートルの段ボールに、季節感のある明るく楽しい構成を考え、画用紙やフェルトなどの様々な素材を使って各研究室で製作しました。



私が所属している音楽第1研究室は、夏の海をテーマに、構図やレイアウト

を考えました。生き物や自然に興味を湧かすように、スイカを食べる子どもを主人公に、空には雲やカモメ、海にはイルカや白波、砂浜にはカニやヤドカリなどを配置しました。また、立体感や遠近感が出るよう、和紙、布、綿など様々な素材を使って、質感や色、切り方にもこだわりました。

今回の製作活動を通して、仲間と議論を重ね、互いの良さを認め合いながら、ひとつの作品を作り上げる楽しさと充実感を味わうことができました。何より、笑顔で壁面構成を見ている子どもたちの姿を想像しながらの活動は、とてもワクワクしました。

◆「模擬保育」を経験して

保育学科2年 谷 安里紗



後期から始めた「保育実践演習」の授業で、2年生が8グループに分かれ、

対象幼児の年齢と保育課題に従って、模擬保育を行ないました。

私は、音楽表現である歌唱指導と音遊びの内容で模擬保育をしました。主な活動は、カスタネットを使ってリズム打ちを行い、単純なリズムの模倣をしたり、音符カードを並べて様々なリズムを作ったりしました。このような音楽に親しむ体験の中で、気付いたり、感じたりする感覚が磨かれ、子どもの豊かな感性を養うようにしていきたいと思いました。

模擬保育を通して、子どもの育ちにふさわしい活動とは何か、子どもにとって充実した楽しい活動となるためにはどうすれば良いのかなど、保育を構想していく難しさを感じました。また、先生や学生同士での話し合いから学びを共有することで、新たな視点が目につき、自身の保育の力量を高める貴重な経験となりました。ご指導くださった先生方、心より感謝いたします。



秘書科

◆クリスマスリース作り



秘書科1年 久米 由花

昨年11月20日、秘書科全体でクリスマスリースを作

製しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で学外セミナーや大学祭などのイベントが次々に中止となり、残念に思っていた中でこのイベントだったため、とても楽しみにしていました。

当日は講師の先生をお招きし、クリスマスの音楽が流れる楽しい雰囲気の中でクリスマスリースを作りました。普段の授業では話す機会の少ない友達とも様々な話をしながらオシャレで素敵なリースを完成させることができました。研究室の友達ともこれまでより一層仲を深めることができました。



学校生活がとても楽しくなりました。最後に、様々な制限がある中でこのようなイベントを

企画してくださった先生方に感謝いたします。

探訪/研究室

発達科学部 塚 るり子

●自己紹介

これまで、特別支援学校で特別支援教育に携わっていました。子どもたちの笑顔と真剣なまなざしに、限りなく心を揺さぶられました。最近、熱中しているのは「シンデレラフィット」。長年、心奪われているのは「演劇」です。

●ゼミナールの特徴

支援が必要な子どもの「ストロングポイント」を生かした指導の在り方や支援の連携について、学んでいます。突然、女子力アップのワンポイントレッスンは始まります。

●ゼミ生へ一言

「あたたかい心」と「冷静な判断力」を持ち合わせた支援者になってほしいです。

●二十歳の時の自分

「朝日訴訟」に関する長先生の講義が楽しめました。舞台照明のアルバイトで大道具を連夜運び、筋力アップ。

探訪/研究室

秘書科 水口 文吾

●自己紹介



出身はさぬき市で大学のみ県外に行っていました。最初はソフトウェア開発会社

社に勤めていましたが、縁あって高松短期大学で教えることとなりました。

●研究室の特徴

メデイカルクラーク取得に向けての補習等を行っている研究室です。医療に関わる仕事に就きたい人が所属しています。

●研究室の学生へ一言

勉強とアルバイト、検定対策等で大変な毎日ですが、時間を気にせずに友人達と遊べるのはこの時期だけです。学業だけではなく、日々を楽しむ事も心がけて下さい。

●二十歳の時の自分

読書三昧の日々でした。今でもよく本を読みますが、二十代の頃ほど集中しては読めなくなりました。



みんなで力を合わせてつくり上げた晴れ舞台！

昨年度は2月のお遊戯会に0歳児から5歳児まで全ての園児が参加しましたが、今年度はコロナ禍ということもあり、未満児(0・1・2歳児)の生活発表会を12月に園内で行うことになりました。

北館3階ホールのステージは小さな未満児さんには高過ぎるので、東館2階の遊戯室に特設ステージをつくることに。2ヶ月前頃から、バスの運転手さんが丈夫な板で高さ20cm程度の箱を40個以上作り、その上部にタイルカーペットをぴったり貼り付けていきました。それをきれいに敷き詰めて動かないように固定すると特設ステージの完成です！天井にカーテンレールを取り付けて、幕もちゃんと閉まります。DIYでのステージでしたが、先生達が可愛らしく飾りもつけて立派なものになりました。



本番当日、幕が開くと、同じ高さ位の日線で観ているお客さんの顔をじっと見つめて動こうとしない子や「よいしょ」とステージから降りてお母さんの胸に飛び込む子などもいましたが、みんなそれぞれに日頃の園生活で育んできた力を発揮しました。生まれて初めての晴れ舞台が、嬉しく楽しい思い出として子どもたちの心に残っているといいなと思います。

● 認定こども園高松東幼稚園ニュース ●

第十六回かがわの高校生地域創生 ビジネスアイデアコンテスト開催

地域活性化につなげるさまざまなビジネスアイデアを発表する「かがわの高校生地域創生ビジネスアイデアコンテスト」を開催し、県内の5校5チームが参加した。コロナ禍の状況下、感染拡大防止を考慮し、今年度は動画でのプレゼン審査とした。

1月9日にホームページで結果発表が行われ、最優秀賞に坂出商業高校の「観光で坂出市を活性化」インバウンドからマイクロリズムへ」が選ばれた。

審査員を務めた本学大学院井藤正信教授は、「新型コロナウイルスの影響もあってインバウンドを中心に取り組んだ学校が1校のみであったのも当然とも言え、さらに生徒達の調査・研究が十分にできなかった面は否めない。そうした状況下で比較的調査可能なマイクロリズムに着目し、仮説と検証という方法で可能な施策を探っている点などが坂出商業の場合高い評価につながったと考えております。」と講評した。

「コロナ禍でも笑顔いっぱい！ 「ふれあいコンサート」

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、4、5月の在宅学習期間はもとより、対面授業が始まってからも本学の様々な行事は中止となった。その様なかで、感染防止対策を講じたうえで、大好きな音楽やダンスを続けてきた学生の思いを伝え、見る人にも楽しく元気な気持ちになってもらいたいと、6回のふれあいコンサートを開催した。

11月には、「Jazz研究会」が2回。12月には、「ダンスサークル」と「チア☆ダン」との二



本立てと、「Jazz研究会」、「発達科学部ウインター・ガラ」、「高松アカデミー・ウィンドアンサンブル」の4回。いずれも学生の感性が溢れた素晴らしいコンサートで、人との距離が、これまでより近くに感じられる貴重な学生行事となった。

書評・読書感想文 コンクール表彰式

学生の読書推進や図書館資料利用の活性化等を目的として、毎年、書評・読書感想文コンクールを開催している。

第18回目となった今年度は、36点の応募作品の中から優秀賞4点、佳作7点が選ばれ、昨年12月16日、図書館で表彰状と記念品が贈呈された。

平岡三千雄館長は、「電子媒体の書籍も増えていますが、紙の書籍に親しんでいただくことも、大切にしてほしい。読みに方もひと工夫してみたい。」と述べた。



「古高松地区河川等一斉清掃」 で地域活動

昨年12月6日、天候にも恵まれ、今年度も大学周辺地域の一斉清掃に、大学生34名、短大生3名、教職員27名の合計64名が参加した。



地域社会の振興と発展、人材育成に寄与することを目的に、「高松市と高松大学・高松短期大学との連携協力に関する協定」を締結しており、昨年10月28日、秘書科授業「地域文化研究Ⅱ」（高塚順子教授担当）において、高松市の政策案について市民の意見を提出する「高松市パブリックコメント」を実施した。

今回は、高松市政策案のひとつ「高松市塩江道の駅エリア整備基本計画（案）」について、高松市観光交流課 観光エリア振興室 室長 吉峰秀樹氏より概要を説明いただいた後、学生は数名のグループに分かれ、計画（案）について意見を交わし、グループごとに意見を発表した。学生は、夏休みを利用し事前に塩江町を訪れて今回の授業にのぞんでおり、意見交換は活発になされ、発表では有意義な意見が多く出された。授業の最後に、グループごとに意見を集約し、パブリックコメントとして高松市へ提出した。



最後に、グループごとに意見を集約し、パブリックコメントとして高松市へ提出した。

高松市パブリックコメント

本学は高松市と本学が有する人的・物的資源を活用し、

クラブ・サークル活動紹介

キャンパスライフを充実させるため、本学では様々なクラブ・サークルが活動しています。その活動内容や特徴などを紹介するため、クラブ・サークル活動紹介コーナーを設けました。本号では、バドミントン部と児童文化部を取り上げます。

バドミントン部

発達科学部子ども発達学科3年 高橋 侑里
■クラブ・サークルの活動内容
私たちバドミントン部は佐竹先生のご指導のもと、四国地区大学総合体育大会や各種大会で勝つことを目標に体育館で練習に取り組んでいます。



専任のコーチはいませんが、みんなが練習メニューを考えながら、毎週火曜

の16時10分から男子9名、女子8名の計17名で楽しく活動しています。

■クラブ・サークルの特徴
バドミントン部は、令和元年9月にサークルからクラブに昇格しました。当時は、クラブへの昇格をめざして一致団結して練習を行い、令和元年6月の四国地区大学総合体育大会で、男子団体第4位の成績を取ることができ、ク

キラリ☆輝く人
医師会にガウン贈呈



保育学科1年
小川 里歩さん

コロナ禍において、本学学生及び教職員有志が、昨年6月からポリ袋と養生テープで医療用ガウンを製作。本年1月末現在で、香川県医師会に医療従事者への感謝のメッセージを添えて650着を寄贈し、感謝状を頂いた。授業の合間にボランティアで取り組む小川さんは、「微力ではあるが、地域に貢献できる喜びを実感できた。ガウン製作の経験は将来の保育現場でも生かせるはず。明るい未来が訪れることを願い、感染拡大防止に努めつつ活動を継続したい。他の学生にも活動の輪が広がれば。」と抱負を語ってくれた。

クラブへの昇格が認められたときにはみんな喜びました。

■クラブの実績

男子は、四国地区大学総合体育大会で、男子団体ベスト4、男子シングルスベスト16、女子は第16回さぬき市オープンバドミントン大会女子ダブルス4部第1位、第69回高松市民オープンバドミントン選手権大会女子ダブルス3部第2位。最近では第70回高松市民オープンバドミントン選手権大会男子シングルス2部第1位、第2位となりました。



バドミントン部メンバーの集合写真

児童文化部

保育学科2年 谷淵 未来

■クラブ・サークルの活動内容
児童文化部では大学祭や地域のイベント、園などで人形劇を発表しています。人形劇を発表する際には、保育での「導入」となる手遊びや絵本紹介などについても考える必



児童文化部の人形劇発表の様子

要があるため、保育の学びにも繋がります。また、イベントに参加した際には、子どもや保護者と人形を通して関わることで、声かけや働きかけといった保育者として身につけるべき力を伸ばす機会になるのも魅力です。

■クラブ・サークルの特徴

人形劇作りでは、学生が絵本をもとに台本を考え、型紙作りから人形を製作します。舞台の背景や小道具にするか仲間と意見を出し合って描いたり、音楽や音声録音したりと、作品を作り上げるまでに様々な作業を経験することができます。録音した音に合わせて人形や、小道具、背景を操作することで、人形の温かみや、手作りの良さが伝わっていると感じています。実際に人形を動かしてみると重くて動かし辛かったり、小道具が多くて予定どおりに動か

結力が芽生えます。作品には改良を重ね、毎回違う形でより良い作品を提供できるのが児童文化部の人形劇の特徴です。

■地域での活動
地域のイベントである旧高松城祭りや園などでのボランティア活動の一環として、人形劇を発表しています。子どもたちと人形劇で触れ合ったり、子どもたちの出し物と一緒に参加したり、子どもが活動を行いやすいように声かけや援助を行うなど、希望に応じた活動を行います。

☆時代の変化や社会の要請に的確に 대응するとともに、本学の強み・特色を生かしながら、持続的に発展していけるよう、「高松大学・高松短期大学ビジョン2030」を策定しました。

☆1号館エレベーター棟工事が完了し、1月21日よりエレベーターの利用を開始しました。



編集後記